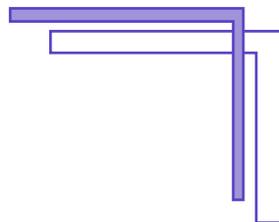
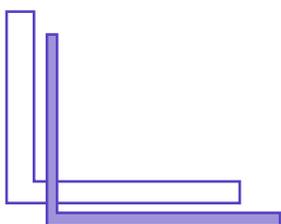


資料編



1 取組指標の基準値および目標値

施策1 豊かな自然と生物多様性を保全する

推進分野1 自然とのふれあいの推進

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
市内の自然に関する広報、SNS等での啓発数(回)	2回(令和元年度)	3回(令和5年度)
自然観察会、出前講座の参加者数(人)	67人(令和元年度)	90人(令和5年度)
人材育成のための講座の開催数(回)	0回(令和元年度)	2回(令和5年度)

推進分野2 多様な生物の保全と外来種対策

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
モニタリングの開催数(回)	8回(令和元年度)	8回(令和5年度)
アライグマの駆除数(有害鳥獣として捕獲されたアライグマを含む)(頭)	37頭(令和元年度)	40頭(令和5年度)
生物多様性に関する広報、SNS等での啓発数(回)	5回(令和元年度)	7回(令和5年度)

推進分野3 里地里山の維持保全と環境配慮

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
地域によって保全されている農地面積(ha)	394.1ha(平成30年度)	414.1ha(令和5年度)
新規就農者数(人)	0人(平成30年度)	6人(令和2~5年累計)
有害鳥獣による農業被害額(千円)	5,752千円(平成30年度)	4,404千円(令和5年度)
有害鳥獣の捕獲頭数(頭)	737頭(令和元年度)	700頭(令和4年度)
適切に管理されている人工林の割合(%)	49.2%(平成30年度)	52.1%(令和5年度)
荒廃森林再生事業の実施面積(ha)	20ha(平成30年度)	20ha(令和5年度)

施策2 廃棄物の減量と適正処理を推進する

推進分野1 ごみ減量とリサイクルの推進

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
ごみの分別に関する出前講座の開催数(回)	3回(令和元年度)	4回(令和5年度)
環境教育副読本のごみに関するページの活用率(%)	73%(令和元年度)	100%(令和5年度)
分別間違い率(%)	19%(平成30年度)	10.5%(令和5年度)
家庭から排出される市民1人1日当たりのごみの排出量(g)	544.06g(令和元年度)	534g(令和5年度)

推進分野2 廃棄物の適正な処理

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
不法投棄の対応件数(件)	78件(平成30年度)	78件(令和5年度)

施策3 地球温暖化対策と気候変動適応策を推進する

推進分野1 省エネルギー施策の普及・啓発

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
環境教育副読本の地球温暖化に関するページの活用率(%)	18%(令和元年度)	100%(令和5年度)
環境に配慮した公用車の導入率(%)	77%(令和元年度)	81%(令和5年度)
公共施設の再生可能エネルギー導入状況(kW)	104 kW(令和元年度)	基準値より増(令和5年度)
住宅改修工事等補助金の補助件数(件)	85件(令和元年度)	85件(令和5年度)
事業者を対象とした省エネルギー講座の開催数(回)	0回(令和元年度)	2回(令和5年度)

推進分野2 再生可能エネルギーの導入と公共交通の利用促進

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
エコエネルギー導入促進補助金の交付件数(件)	335件(令和元年度)	395件(令和5年度)
バス利用者数(人)	29,092人(平成30年度)	35,362人(令和5年度)

推進分野3 気候変動の影響への対応

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
防災訓練および学習会を実施した自主防災組織の割合(%)	85.4%(平成30年度)	91.5%(令和5年度)
気候変動に関する広報、SNS等での啓発数(回)	0回(令和元年度)	2回(令和5年度)
熱中症予防啓発数(回)	82回(令和元年度)	100回(令和5年度)
防災に関する出前講座の開催数(回)	27回(令和元年度)	27回(令和5年度)

施策4 良好な生活環境を形成する

推進分野1 住みよい生活環境の確保

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
公共用水域水質調査の測定値 (基準値超過の有無)	環境基準値内(令和元年度)	環境基準値内(令和5年度)
自動車道路騒音調査の測定値 (基準値超過の有無)	環境基準値内(令和元年度)	環境基準値内(令和5年度)
下水道普及率(%)	97.8%(平成30年度)	98.3%(令和5年度)
水洗化率(%)	98.1%(平成30年度)	98.6%(令和5年度)

推進分野2 快適な生活環境の実現

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
ペット、小動物に関する相談件数(件) ※野良猫を含む。野生生物は除く。	67件(平成30年度)	50件(令和5年度)
近隣の生活騒音、振動、悪臭に関する相談件数(件)	146件(平成30年度)	131件(令和5年度)
所有地の管理に関する相談件数(件)	59件(平成30年度)	59件(令和5年度)
生活環境に関する広報、SNSでの啓発数(回)	14回(令和元年度)	14回(令和5年度)
ごみゼロ運動の参加者数(人)	34,378人(令和元年度)	34,378人(令和5年度)

推進分野3 都市空間の整備

取組指標	基準値(年度)	目標値(年度)
公園の樹木や街路樹に関する相談件数(件)	69件(令和元年度)	50件(令和5年度)
開発行為指導件数(件)	31件(平成30年度)	116件(令和2~5年累計)
市民がふれることのできる史跡数(箇所)	8箇所(平成30年度)	10箇所(令和5年度)

2 計画の策定経過

日 付	内 容
令和元年7月26日(金)	令和元年度 第1回環境審議会(策定スケジュール報告)
令和元年7月~8月	市主催自然観察会の参加者アンケート調査(22世帯)
令和元年9月下旬~ 10月下旬	市民アンケート調査(2,000人対象、回収率41.5%)
	事業者アンケート調査(100社対象、回収率42.0%)
令和元年10月上旬	市内コミュニティ運営協議会へのインタビュー
令和元年11月1日(金)	令和元年度 第2回環境審議会(進捗状況の報告)
令和2年7月28日(火)	令和2年度 第1回環境審議会(基礎調査結果の審議)
令和2年8月5日(水)	庁内関係課対象のヒアリング
令和2年10月23日(金)	令和2年度 第2回環境審議会(施策体系図審議)
令和2年11月20日(金)	令和2年度 第3回環境審議会(素案審議)
令和2年11月18日(水)~ 11月30日(月)	市職員対象パブリックコメントの実施
令和2年12月1日(火)~ 令和3年1月4日(月)	市民対象パブリックコメントの実施
令和3年1月25日(月)	令和2年度 第4回環境審議会 (新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため中止)

3 筑紫野市環境審議会委員

役職	氏名	所属団体等
会長	岩間 徹	西南学院大学 名誉教授
副会長	中山 裕文	九州大学大学院工学研究院 准教授
	岩熊 志保	一般社団法人まほろば自然学校 代表理事
	杉嶋 功治	筑紫野市小中学校校長会 二日市小学校校長
	牧草 由紀夫	福岡県筑紫保健福祉環境事務所 環境長
	松原 静雄	福岡県広域森林組合 副組合長
	西田 尚美	特定非営利活動法人 よか隊 理事長
	溝口 澄子	筑紫植物友の会 副会長
	平野 修	市民
	田邊 友子	市民

表紙イラストの生きものについて



表紙イラストには、市内に生息する希少な生きものたちが描かれています。
ここでは、種の名称と、福岡県レッドデータブック※の 카테고리を紹介しします。

※レッドデータブックとは、絶滅のおそれのある野生の動植物のリスト（レッドリスト）及びそれらの生育・生息状況を取りまとめた本のこと。植物、哺乳類、鳥類等について改定された 2011 年版を「RDB2011」、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類等について改定された 2014 年版を「RDB2014」という。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| ①アカシジミ | 準絶滅危惧（RDB2014） |
| ②キイトンボ | 準絶滅危惧（RDB2014） |
| ③エヒメアヤメ | 絶滅危惧ⅠA類（RDB2011）、筑紫野市指定天然記念物 |
| ④コサメビタキ | 情報不足（RDB2011）、軽度懸念（国際自然保護連合 RDB） |
| ⑤ニホンアカガエル | 絶滅危惧Ⅱ類（RDB2014） |
| ⑥ヤマトシマドジョウ | 準絶滅危惧（RDB2014） |
| ⑦アカハライモリ | 準絶滅危惧（RDB2014） |

キイトンボ、エヒメアヤメ、コサメビタキ、ニホンアカガエルについては、本計画の 27 ページに写真を載せていますので、そちらもご覧ください。